

令和4年度新型コロナ対応地方創生臨時交付金事業の実績及び効果検証

No	事業名	事業概要	事業費	うち交付金	実施期間	事業実績・効果検証	担当係
1	物価高騰等対策支援金	コロナ禍の物価高騰及び原油高により生活費が増加しているため、子どもがいる世帯や高齢者のみの世帯においては、生活困窮に陥るおそれがある。このため、これらの世帯員に対し支援金を交付することで、食料品や日用品の購入や冬場の燃料調達に活用してもらい、生活困窮とならないようにする。	131,200,000	43,051,000	R4.6.13 ～ R5.1.18	村民1人あたり2万円を給付した。 給付総数6,577人 給付総額131,200,000円 うち18歳以下のいる世帯人数2,240人 44,800,000円、65歳以上のみの世帯人数 1,117人2,234,000円を交付金対象とした。 物価高騰による生活困窮に陥ることを防ぐことができた。	総務課 企画政策係
2	指定避難所感染防止対策事業	新型コロナウイルス感染症対策として、避難所における感染防止対策を図るため、入口に検温器を設置し発熱のある者を隔離するとともに、世帯間の飛沫等の飛散防止のために間仕切りを設ける。また、就寝の際に、感染のおそれがある床面に触れないようにするため簡易ベッドを使用する。本事業において、これらの物品を備蓄する。	4,200,900	4,200,000	R4.6.13 ～ R5.3.20	避難所における感染症感染予防のための備品を購入した。 テント110張1,694千円 ベッド110台834千円 検温器4台1,672千円 災害発生時にはこの備品を活用し、感染症予防しながら避難者受入れが可能となった。	総務課 危機管理 防災係
3	避難所等ネットワーク構築事業	新型コロナウイルス感染症対策として災害発生時には、従来計画よりも箇所数を増やし開設させなければならない。これに伴い、避難所1カ所あたりの配置職員数が減少するため、避難所における避難者の把握や、食料品及び日用品の配付等の業務を効率化する必要が生じる。 このことから、避難所のネットワークを構築することで、災害本部との情報交換等を電子化するほか、避難所開設時の避難者の把握等の業務をシステム化などを行い、業務の効率化を図る。 本事業においては、指定避難所となる体育館5カ所にネットワークを構築する。	5,679,520	5,679,000	R4.6.13 ～ R5.3.20	災害本部と避難所とを結ぶネットワークを構築した。 ネットワーク配線工事4,510千円 通信機器設置1,169千円 災害発生時にはこのネットワークを活用し、感染症予防のため開設数を増やした避難所と災害本部を結び、効率的な避難所運営が可能となった。	総務課 危機管理 防災係
4	公共的空間安全・安心確保事業(保健施設)	新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種会場としている保健施設の出入口はドアノブによる開閉式であることから、来場者が接触し感染のおそれがある。自動ドアに改修することでドアノブに触れることがなくなるため、来場者の感染防止を図る。	2,970,000	2,970,000	R4.6.13 ～ R4.11.18	ワクチン接種会場となる健康管理センター出入口扉(1箇所)を自動化した。 設計委託料220千円 工事請負費2,750千円 出入口を自動扉にすることで、ドアノブに触れることなく出入りが可能となった。	健康福祉課 保健予防係
5	感染症予防対策用品備蓄事業	新型コロナウイルス感染症の今後の更なる拡大に備え、マスク及び消毒液を購入し備蓄する。	1,647,140	1,647,000	R4.6.13 ～ R5.2.8	感染症の感染拡大に備えて、予防対策物品を購入した。 マスク330円×50個 アルコール(5ℓ)54,450円×30箱 感染拡大時の供給不足に備え、村民に配付できる体制が整った。	健康福祉課 保健予防係

令和4年度新型コロナ対応地方創生臨時交付金事業の実績及び効果検証

No	事業名	事業概要	事業費	うち交付金	実施期間	事業実績・効果検証	担当係
6	公共的空間安全・安心確保事業(多目的施設)	新型コロナウイルス感染症対策として、多くの方が利用するYOU游ランドにおける感染症の拡大を防止するため、多目的ホールの換気設備を改修し来場者の安全を確保する。	4,675,000	4,675,000	R4.6.13 ～ R4.10.28	YOU游ランドの多目的ホールにおける十分な換気を可能とするため、換気設備の改修を行った。 換気設備改修工事請負費5,494千円 利用者が安心して施設を利用できるようになった。	健康福祉課 公園係
7	高山村商品券発行事業	高山村商工会で発行するプレミアム付商品券について、コロナ禍による影響を克服するため発行総額を増額するとともに、プレミアム分を10%上乘せし、生活費等の支援を行う。なお、使用期限を令和5年1月30日としており、換金分に応じて委託金を支払うため、未換金分に対する支払いはない。	21,167,000	16,667,000	R4.6.13 ～ R5.2.28	村内経済の活性化のため、商工会が発行する商品券のプレミアム分の上乗せ及び発行総額を増加するため補助金を交付した。 補助金22,000千円 (プレミアム率を10%⇒20%) (発行総額4,500千円⇒9,000千円) 従来よりもお得になった商品券を多くの方が購入し、完売となった。この結果、村内経済が活性化された。	産業振興課 商工観光係
8	バス旅応援事業	コロナ禍の影響によりバスツアーの催行が激減し、バス事業者や宿泊業者の売り上げが減少している。このため、村内バス事業者の貸切バスを利用するツアーや、村内旅館等に宿泊するツアーにおけるバス料金の一部を支援する。	600,000	600,000	R4.6.13 ～ R5.2.8	コロナ禍により事業に多大な影響を受けたバス事業者の利用を促進するため、補助金を交付した。 補助金1,000千円 (マイクロバス40千円×10台、中・大型バス50千円×12台) 補助金を活用することにより、村内発着または村内へのバスツアーの利用者が増え、バス事業者の事業継続に繋がった。	産業振興課 商工観光係
9	観光客誘致支援事業	コロナ禍により大幅に落ち込んだ観光客数や交流人口を回復させるため、宿泊事業者等が実施する誘客支援事業に要する経費の80/100を補助する。	723,000	723,000	R4.6.13 ～ R4.10.28	コロナ禍により村内への観光客が大幅に減少したため、誘客のためのイベント開催経費を補助した。 補助額1件、723千円(補助率:80/100) 村内産ワインを楽しんでいただくイベントを開催し、ワインファンをはじめ多くの方が村を訪れてもらった。	産業振興課 商工観光係
10	高山村事業継続給付金事業	コロナ禍の影響を受け、感染拡大前よりも売り上げが減少した事業者で、今後も事業継続の意思のある事業者を支援するため、年間売上額及び売上減少率に応じて給付金を交付する。また、原油高等の影響を鑑み、給付金額を上乗せする。	26,490,000	26,490,000	R4.6.13 ～ R4.11.18	コロナ禍により経営に多大な影響を受けた事業者を支援するため、給付金を交付した。 補助金26,490千円 (60事業者分、給付金額40千円～2,500千円) 経営困難な状況ではあったが、事業者の事業継続の支援ができた。	産業振興課 商工観光係

令和4年度新型コロナ対応地方創生臨時交付金事業の実績及び効果検証

No	事業名	事業概要	事業費	うち交付金	実施期間	事業実績・効果検証	担当係
11	村営温泉入浴施設感染予防対策事業	コロナ禍において、村営温泉入浴施設(蕨温泉ふれあいの湯、山田温泉大湯)における新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、入口に非接触型測温計を設置し、発熱のある利用客の入場を制限する。	1,584,000	1,584,000	R4.6.13 ～ R4.12.8	村営温泉入浴施設における感染拡大を防ぐため、感染者を判別するための検温機を設置した。 備品購入費1,584千円 (非接触型測温計792千円×2台) 検温機を活用することで、発熱者の入館を防ぐ体制が整った。	産業振興課 商工観光係
12	村営温泉入浴施設感染予防対策事業	不特定多数の利用者が出入りする村営温泉入浴施設(蕨温泉ふれあいの湯、山田温泉大湯)において、新型コロナウイルス感染症拡大予防のために、定期的に施設内のドアや脱衣かご等を拭くなど除菌清掃作業を行う。このことにより、当該施設での集団感染の発生を0件に抑える。	3,090,000	3,090,000	R4.6.13 ～ R5.2.10	村営温泉入浴施設にける感染拡大を防ぐため、来場者が触れる箇所の消毒を定期的実施した。 消毒実施委託料3,708千円 (ふれあいの湯2,436千円+大湯1,272千円) 定期的に消毒を行うことによって、利用者への感染拡大を防止することができた。	産業振興課 商工観光係
13	公共的空間安全・安心確保事業(観光施設)	本施設は本村における観光の拠点となっており、観光案内や地場産品を買い求める観光客が多く来場する。来場した観光客が出入口のノブに触れることで、新型コロナウイルス感染症が拡大しないようにするため、出入口を自動扉に改修しドアノブに触れる機会をなくす。 これにより、本施設での集団感染の発生を0件に抑える。	2,299,000	2,299,000	R4.6.13 ～ R5.3.28	村観光案内施設の出入口扉(1箇所)を自動化した。 設計監理委託料319千円 工事請負費1,980千円 出入口扉を自動化することにより、来場者がドアノブに触れることなく入館できるようになった。	産業振興課 商工観光係
14	村営温泉入浴施設感染予防対策事業	新型コロナウイルス感染症対策として、村営温泉入浴施設(蕨温泉ふれあいの湯、山田温泉大湯)に訪れる利用客への感染症の拡大防止のため、出入口を自動ドアに改修し、不特定多数がドアノブ等に触れないようにする。 これにより、本施設での集団感染の発生を0件に抑える。	5,533,000	5,533,000	R4.6.13 ～ R5.3.28	村営温泉入浴施設の出入口扉(各1箇所)を自動化した。 設計委託料638千円 (蕨温泉319千円、大湯319千円)、 工事請負費4,895千円 (蕨温泉2,640千円、大湯2,255千円) 出入口扉を自動化することにより、利用者がドアノブに触れることなく入館できるようになった。	産業振興課 商工観光係
15	温泉使用料減免事業	コロナ禍による売上が減少している宿泊事業者等の固定経費の負担軽減を図るため、令和4年度分の温泉使用料を減免し、減収分を一般会計から温泉開発事業特別会計に繰り出す。	20,856,440	17,342,000	R4.6.13 ～ R5.3.28	コロナ禍により宿泊者が激減した事業者の経営を支援するため、固定費である温泉使用料の減免を行った。 収入補填の繰出金20,830千円 (山田温泉分9,900千円、奥山田温泉分10,930千円) 温泉使用料減免することにより、宿泊事業者の事業継続を支援できた。	産業振興課 商工観光係

令和4年度新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金事業の実績及び効果検証

No	事業名	事業概要	事業費	うち交付金	実施期間	事業実績・効果検証	担当係
16	タブレット端末整備等事業 (教師用端末整備)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により休校となった場合に、児童が自宅でオンライン授業を受けられるようにするため、教師用のタブレット端末を導入(リース契約)することで環境整備を行う。これにより、児童は感染リスクのある学校に登校することなく、授業を受けられるようになる。 本事業においては、R4年度分のタブレット端末のリース料に充当する。	3,719,760	3,719,000	R4.4.1 ～ R5.3.31	感染拡大時でもオンラインによる授業を行えるように、全児童及び生徒にタブレット端末を貸与した。 使用料3,720千円 (小学校2,052千円:機器分766千円、ソフト分971千円、保守分315千円) (中学校1,668千円:機器分802千円、ソフト分677千円、保守分189千円) タブレット端末を活用することにより、オンライン授業の体制が整った。	教育委員会 子育て学校 教育係
17	分散教室空調設備設置事業	新型コロナウイルス感染予防対策として、中学校では空き教室を利用しクラスを分散して授業を行っている。しかし、空き教室に空調設備がないことから、現状では、換気機能に乏しく新型コロナウイルスへの感染リスクが高いことから、空調設備を設置し、感染防止につなげる。	4,672,800	4,560,000	R4.6.13 ～ R5.3.28	感染症感染予防対策として、少人数に分けて授業を受けさせるにあたって、空き教室に空調設備を整備した。 設計監理委託料600千円、 工事請負費3,960千円 (冷暖房設備費3,434千円、電源工事費526千円) 空き教室でも夏季及び冬季でも快適に授業を受けられる体制が整った。	教育委員会 子育て学校 教育係
18	遊戯室空調設備設置事業	たかやま保育園の遊戯室に空調設備がなく、冬期間に遊戯室を利用した保育園行事の際は、窓を開放できないことから新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高い。このため、空調設備を設置し、換気しやすい環境を整備し新型コロナウイルス感染症の感染防止を図る。	12,332,884	12,332,000	R4.6.13 ～ R5.3.28	大勢の園児が集まる遊戯室の換気を行っても、室温の変化が多くなるよう空調設備を整えた。 設計監理委託料1,950千円、 工事請負費13,000千円 外気温を気にすることなく遊戯室の換気を十分に行えるようになり、園内の感染防止につながった。	教育委員会 子育て学校 教育係
19	物価高騰対応子育て世帯支援給付金	食料品や燃料などの価格が高騰し生活費が増加している中で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動が停滞し収入が減少することで、生活困窮に陥ることが予想される。特に子育て世帯においては、生活困窮となった場合に子どもへの影響が深刻となる。このため、18歳以下の村民を対象とした給付金を交付することで、生活困窮に陥ることを防ぐ。	22,498,968	22,087,000	R4.11.2 ～ R5.3.28	物価高騰により生活費が増加した子育て世帯を支えるため、18歳以下の村民に1人あたり25,000円を給付した。 給付金21,875千円(875人分) 事務費623,968円 物価高騰により生活困窮となる子育て世帯の支援ができた。	教育委員会 子育て学校 教育係

令和4年度新型コロナ対応地方創生臨時交付金事業の実績及び効果検証

No	事業名	事業概要	事業費	うち交付金	実施期間	事業実績・効果検証	担当係
20	灯油券交付事業	燃料や食料品などの価格高騰が家計を圧迫している中で、冬季を迎え暖房に使う灯油の購入が増える。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動の停滞により収入が減少することで、灯油を買い控え体調不良に陥ることが予想される。特に高齢者のみの世帯等においては、外出せず自宅にいる時間が長いこと、暖房の使用を控えることによる体調への影響が懸念される。このため、65歳以上の高齢者のみ世帯等を対象として、灯油券を交付することで暖房の使用を控えることを防ぐ。	15,033,153	15,033,000	R4.11.2 ～ R5.3.20	燃料費が高騰する中、冬季の暖房費を支援するため、65歳以上の高齢者のみ世帯に灯油券を交付した。 灯油券14,852千円(14,852枚使用) 事務費181,153円 交付した灯油券の86.8%が使用され、燃料費が高騰していても十分に暖房をしようすることができたと思われる。	健康福祉課 福祉係
合計			290,972,565	194,281,000			